

泉の自治だより

題字は県会議員・岡田 倫

No. 45

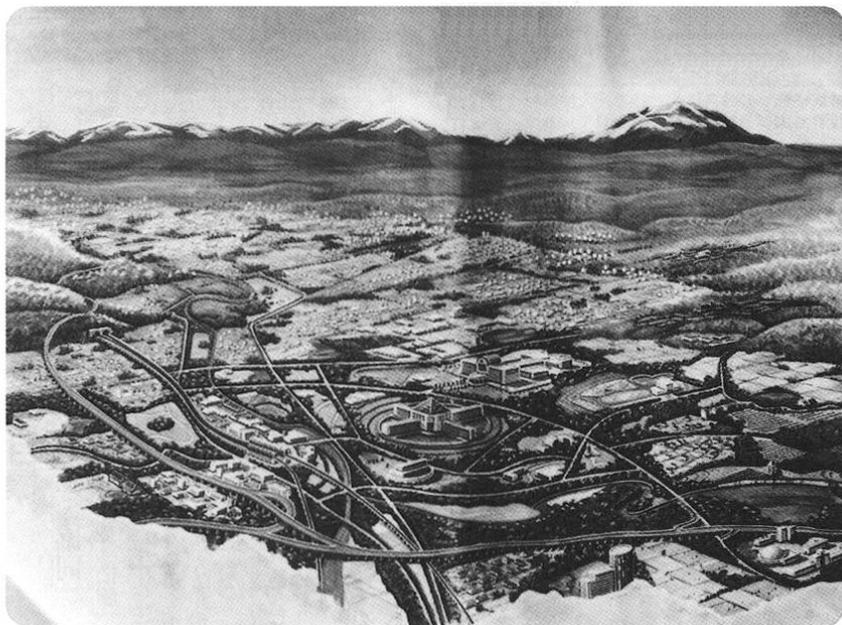
発行所 泉自治区連合会
発行責任者 連 区 長
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉町中寮町
TEL 55-3653
編集委員長 甲川清治

秋
桜

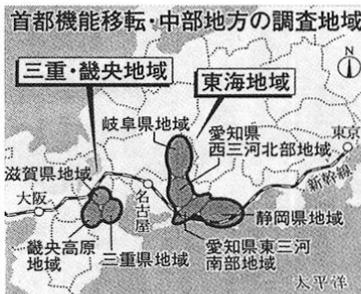
パレット会
本田 友二



— 特 集 — 首都機能移転問題について 「東濃を含む東海地域」が調査対象に



泉西山町、今井敏美さんが描いた「首都東濃」



新首都「東濃」へ一歩前進か 泉町の今後へ議論を深めよう

政府の国会等移転審議会は、平成十年一月首都機能移転についての調査対象地域として、栃木県を中心とする「北東地域」、当地東濃を含む岐阜、愛知、静岡を対象とする「東海地域」、三重県伊勢平野から滋賀、京都、奈良の府県境に至る「三重畿央地域」の三地域を設定しました。

この調査対象地域とは移転先候補地を選定するために、地域ごとの詳細な調査を行なう地域として、とりあえず決定されたもので、今後首都機能移転の対象地域の住民として、より以上の関心の高まりと、行政としての適確な動きが、共に求められてきたものと言えるでしょう。

首都機能移転とは？

首都機能移転(国会等の移転)とは、国会・行政・司法の三権の中枢機能を、東京以外の地域に移すことをいい、このことは「国会等の移転に関する法律」に、国の責務として定められているのです。

そのようなスケジュールをたてています。

決定へのスケジュール

国会等移転審議会では移転先候補地を、平成十一年秋ごろを目途に答申するとして、現在地域ごとの詳細な調査作業に入っています。

その法律の第一条には「国は、国会並びにその活動に関する行政に関する機能及び司法に関する機能のうち、中枢的なもの(以下「国会等」という)の東京圏以外の地域への移転(以下「国会等の移転」という)の具体化に向けて積極的な検討を行なう責務を有する。」とあり、その方向性は、はっきりと示されています。

この作業は、調査対象地域に関係する行政からの意見の聴取や現地調査を実施してゆくもので、岐阜県としては、平成十年四月に開催された、地方公共団体ヒアリングにおいて、梶原知事が東濃地域の概要説明から岐阜県の自然・歴史・文化・先端科学などについて詳細に説明し、東濃地域の優位性をアピールしました。

国は、法律の定めるところにより、この大事業の遂行に向けて、おおよ

また土岐市としても、六月から七月にかけて当市を訪れた、国土庁長官

毎日が新鮮



DO YOUR SHOPPING HERE PLEASURELY
TOKI SHUFU NO MISE

主婦の店 土岐店グループ

※主婦の店土岐店 ※サンマート ※エー・エス・シー(A, S, C)



主婦の店

いい人・いい街・いい暮らし

生活を面白くするMYCALカード

SATYのカードはすぐ使えるカードです。

お申込みはカンタン

●3F/サービスコーナー又は特設カウンターで
生活百貨店



SATY

土岐サティ

会 員
募 集 中

土岐市泉町久尻42-11 TEL 0572-55-5011

や、同じく国土庁の移転企画課の係官等を、市長自らの案内で、東濃地科学センターの屋上からや、どんぶり会館からの眺望により、なだらかな丘陵地と、取得が容易な広大な公有地であることを印象づけました。

こうして各地域について相互比較検討の末、審議会では平成十一年秋までに候補地をひとつに絞って答申し、これを受けた国会が、移転先を法律で決定する運びとなるのである。

すんなりと運びそうにみえる、こうしたプログラムにも、越えなければならぬハードルがいくつもあろう。

候補地の答申を受けてのち、移転先の決定に至るあいだ、国民の合意形成の状況や、社会経済情勢の諸事情に配慮し、それらをクリアしたのち更に東京都との比較考量というハードルが残されます。

すなわち、新候補地が現在の首都として機能している東京と比べてみて尚移転するにも足る必要性が認められるのか、ということについて検討を加えるというものです。

現在東京都では、移転に反対の立場で、パンフレットその他で宣伝活動を繰り返して、反対の立場

で活動する政党や学者、市民グループ等、数々の団体の主張や活動なども無視できない力を持つて市となる計画です。

拡大を続けて、成熟段階では、人口六十万、面積は九千ヘクタールの都市となる計画です。

市民参加と市民合意で関心の輪を広げよう

「東濃」に決定したと、またこれらのハードルを順調にクリアして、新都市の建設の「東海地域」が候補地になったこと



瑞浪市では、首都移転への独自構想として「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

「大使館村構想」を打ち出し、既に世界各国に公館設置を呼びかけています。

学校の教育目標

「創造・自主・協同」

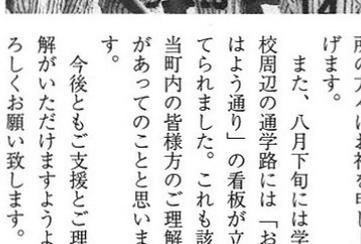
「創造・自主・協同」

「創造・自主・協同」

「創造・自主・協同」

「創造・自主・協同」

「創造・自主・協同」



「創造・自主・協同」

ちようだい よって長大! みて長大! かつて長大!

安心出来るご葬儀を

名陸自認可 霊柩車事業・通産省認可 全葬連加盟店

綜合葬祭  やまと葬祭

● JR 共済組合指定 ● 電気通信共済会指定 ● 郵政弘済会指定

土岐市泉岩畑町2-59(駅ウラ)

54-3421

☎(0572) 54-8378

FAX 55-0124

営業時間 AM 9:30 ~ PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62 TEL 55-1844

市政報告会開催される

七月九日十九時三十分からすこやか館五階大研修室で泉町連合会主催による「泉町市政報告会」が開催されました。市側の出席者は塚本市長・安藤助役・塚本教育長・小林企画部長・塚本総務部長・水野建設部長・白石秘書広報課長・塚田秘書広報課主幹の八名、主催者側の出席者は安藤土岐市連合自治会連絡協議会会長を交え、泉連合会の構成員・各町内会長その他市議員・公民館長・婦人会役員・青少年育成会会長等の皆さんで、報告の内容は広範囲にわたり、市政を理解する上で大変参考になりますので、町民の皆さんにその概要を御紹介致します。

「市としての基本的な考え方」

土岐市は現在第四次総合計画を推進中で今年はその三年目になる。計画では「町が、人が、自然が生きてきた理想郷、交流大地土岐をつくらう」をキャッチフレーズにしている。地域活性化を考へる上において「交流」は極めて重要なキーワードである。市民の皆さんにも参画して頂きながら、現在の変革の時代に土岐市としてどう対処したらよいかを考え、各種の施策を展開している。(中略)

「今後の行政課題として考えられること」

(1)安全と安心の獲得
近代都市の直下で阪神淡路大震災が発生した。地下鉄サリン事件、神戸少年殺人事件が起きた。経済の停滞が外国人の犯罪を誘発する。多治見警察署管内が生活安全活動モデル地区に指定され、ステップタイを組織した。三〇団体五千人が参加する。自分達の町は自分達で守ることが大切だ。

(2)老後の安定

長寿社会の到来(六十歳以上の人口比率の増大)とともに老後の不安が増大する。土岐市の六十五歳以上は現在十六・七％だが、全国では二〇一五年に二十五％になる。四人に一人が六十五歳以上だ。二〇一〇年に出生が百二〇万人を切った。少子化の原因としては、晩婚化、高度教育志向等が上げられているが、長寿社会の中で少子化は極めて深刻な問題である。

(3)少子化への対応

わすか四十年五十年の間に車があふれるモータライゼーションの時代がきたが、今や同じようにコンピュータライゼーションの時代になりつつある。コンピュータ時代のキーワードは、

新しい産業を芽生えさせ、きつかけにしなければならぬ。全国七か所で行われるデジタル地上波の実験地に土岐市も選ばれた。コンピュータ時代に大変喜ばしいニュースだ。

(5)環境問題とエネルギー問題
一九五〇年には二十五億と言っていた人口が今や六十億に近づき、エネルギー消費が飛躍的に増えている。化石燃料が枯渇し、地球温暖化が進む。昨年のI.C.P.Pの発表では百年後に平均気温は2℃上昇し、海面が九五cm上がるという。そのため陸地が喪失し一億二千万人が被害を受ける。森林面積の三分の一で植物種の生育が困難になり、陸地が砂漠化する。炭酸ガスの発生を押しさえなければならぬ。木が炭酸ガスをどれだけ吸収してくれるかも問題だ。石油は百年保たない。仮に今まで通り使えたと二百年後に炭酸ガスの濃度が高くなる。三％になると人間は窒息する。全世界人口の五分の一に過ぎない先進国が全食糧消費量の半分、エネルギー消費量の八十％を使っている。しかし大きな中国が日本並に石油を使うようになったら中東の石油全部使っても足りないだろう。燃料枯渇は加速される。環境ホルモンが問題視されている。種の絶滅に繋がる。要らなくなった物を如何に安全に処理するか。捨てる時代ではない。静脈産業を進展させ、循環型の社会を作らなければならぬ。土岐市は生活環境保全都市宣言をした。



(6)交流
交流はグローバル化ボーンレス化している。インターネットで土岐市の広報を読んだという連絡を受けた。今までは東京を経由して外国と接触していたがこれからは個々の都市が直接外国と接触する時代だ。

核融合科学研究所が完成した。五月一八日まで第一クールの実験をしたが、九月から第二クールの実験が始まる。海水一リットルから石油二五〇立分のクリーンなエネルギーを理論的には取り出せるという画期的実験で世界中の注目を浴びている。昨年は国際土岐コンファレンスに世界から九〇人、国内から二〇〇人の学者が参加した。今年十一月に開催される。今後常時世界の若い学者が集まるだろう。

「具体的な問題について」

(1)交通網の整備
東海環状自動車道の工事が始まっている。今までは中央自動車道、R19、中央線に対して南北の軸が弱かったが、東海環状自動車道の開設でハイモビリティ・利便性が飛躍的に高まる。これらが一ニア新幹線を含めて土岐市内で交差し、高速交通体系の重要な結節点になる。それと併せて住宅都市整備公団によるプラズマリサーチパークが平成十四年度末に町開きをす。東海環状自動車道土岐南インターへアクセス道路として、R19から西陵団地の方へ向かう土岐南インター線、太鼓橋から上がる学園都市線、津から多治見南部・美坂・総合病院を通って瑞浪へ抜ける都市間連絡道路がセットされる。

(2)土岐市駅前再開発
中断しているが、国の総合経済対策として中心市街地活性化に関する法律が制定されたので、駅前再開発にも前向きで取り組むたい。車で買い物出来る商店街として駐車場が不可欠である。それとホテルを考えている。愛知万博をきっかけに永続的に人が集まってくるようにしたい。準備組合

(3)河合区の区画整理
大変苦勞をかけているが、新しい条件を提示した。百年後につながらる地域作りをするよう努力したい。

(4)織部の里構想
国の史跡の元屋敷敷跡の発掘・整備を進めている。四〇〇年前の陶工がいに情熱を傾けて良い商品を作ったか、保存展示を含めて皆さんに紹介し、焼き物を志す人のメッカにしたい。

(5)首都機能移転
政治機能(頭脳)だけを移す。六月に国土庁長官が来訪、九月には現地調査が予定されており、来年の秋には方向が定まる。移転により土岐市民が幸せにならないければならぬ。世界に都市モデルを生かした緑に浮かぶ国会都市をイメージしている。

(6)保健・医療・福祉関係(総合病院)
老人介護のための保健施設(中間施設)を作っている。ここでは三か月位介護させていただく。また、核医学棟を建設している。アイソトープ利用のガン治療をする、リニアックも設置する。病院への交通利便のためバス停からエレベーターで病棟へ上がれるように考えている。

(7)バス路線の確保

地元の新聞 皆様の中日新聞
 チラシで潤う家庭経済
 明るい家庭に中日新聞
 取扱新聞 中日新聞・中日スポーツ・日本経済新聞
 中部経済新聞・証券新聞・工業新聞
 英字新聞 他20種類
 土岐市泉郷町3-35
中日新聞 平岡新聞舗
 TEL 55-2335

コスモガス
 コスモ石油ガス株式会社
 簡易ガス事業
泉北ガス株式会社
 本社 55-3765
 営業所 55-1819

バス路線廃止の気運だが、対策として高齢者のための福祉バスを運行している。空で運転しているのを残せとは言えない。

(8) 廃棄物処分問題

一般廃棄物処分場は九〇万立方メートルが完成しているが、産業廃棄物については問題があるので、今後市と県が一体となって問題を起ささないように進めていきたい。

(9) 河合地区超深地層研究所問題

核廃棄物持ち込みについては、科学技術庁立ち会いで「核廃棄物を持ち込まない」という覚書を書き交わしており、県と原子力局長にも要望書を出している。このことは市の強い意志である。三月に河合区長から要望書が出されたので、東京で原子力局長に会ってお願いした。地元了承なしでは動けないことになっている。

(10) 安全快適な都市づくり

北緯三五度は照葉樹林帯で、人類四大文明発祥地帯に近い所に我々は住んでいる。照葉樹は環境保全に極めて有効である。より質の高い緑を作る経路から環境林(照葉樹林)へ、現代の里山作り(グリーンマスタープラン)を推進したい。

(11) 教育文化計画

① 第二公民館
生涯学習時代に対応

して第二公民館を建設中である。特色ある公民館づくりの一環として体育施設を中心とした。

② 泉小学校校舎改築

真ん中の校舎は昭和四十九年に建設したもので、二十四年になる。危険校舎等の基準は二十五年である。現在、幼稚園を含めて限られた校地の中で長期的展望に立ち、より理想的な改築構想を検討中である。

この後、田中泉町連合区長会長から、「土岐市は大きな町から小さな町まで八つの町が集まっており、対応上大変難しいと思うが、市政の執行に当たっては不公平感のないようきめ細かい配慮をお願いしたい。また、本年度泉町連合区要望事項を提出したので、処理をよろしく願います」と要望した。

質疑応答

(問) 核融合科学研究所は見学出来るか。
(答) 核融合科学研究所は見学出来るか。
(問) 核融合科学研究所は見学出来るか。
(答) 核融合科学研究所は見学出来るか。
(問) 核融合科学研究所は見学出来るか。
(答) 核融合科学研究所は見学出来るか。

(問) 河合地区への核廃棄物持ち込みについて、住民の同意を得ないとならないことだが、同意を得る可能性もあるのか不安だ。

(答) 河合地区への核廃棄物持ち込みについて、住民の同意を得ないとならないことだが、同意を得る可能性もあるのか不安だ。

(問) 三市一町の合併問題はどうか。

(答) 三市一町の合併問題はどうか。

泉の歴史シリーズ(36)

大富の大日如来

字大日、屋免田(東上)に河岸段丘を通る旧大富上組長水野軒次郎の下の川沿いに河合から続いている道があり、寺持ちの田も八町歩程あったというが今では川の流が北に変わり、田畑、道も消失して昔日の面影はない。



往昔、大日の土岐川北岸に御堂があり、大日如来像が安置されていたが、ある年大雨が降り続いて大水となり、大日如来像が御堂と共に流失したという伝承がある。

その後、大日如来像が春日井市大留町の玉野川土岐川右岸に流れ着き、村人たちに拾われて祭られていることが分かった。そこで明治の末頃に当時

いつしかこの事実は人々の記憶から薄れて、今これを知る人は僅かに屋免田の水野繁敏・奥村咲両氏のみである。

この伝承検証のため水野氏に案内をお願いして平成十年六月二十四日に

春日井市大留町の禪源寺を訪れた。野崎瑞芳尼任職に快く迎えられて、寺の由来、大日堂と呼ばれる本堂に安置されている大日如来坐像について説明を受け拝観させて頂いた。

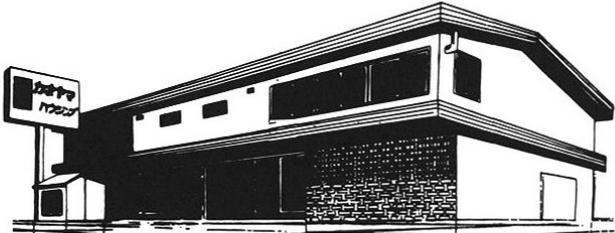
泉町連合区のおゆみ

5月	25・社協評議員会 リニア新幹線期成同盟総会	27・助成団体代表者会議 28・青少年育成町民会議 29・交通安全土岐支部総会	6月	3・ふるさと祭実行委員会 4・自治連協理事會 7・土岐川清掃 9・社協奉仕部理事評議員合同会議	17・連合区三役会 20・第三回連合区長会
7月	25・泉市議団との懇談会 27・公民館建設委員会	1・社協支部連絡会議 2・土岐足助線整備促進期成同盟総会	5・明るい選挙街頭キャンペーン 8・東西公民館起工式 9・市政報告会 10・シートベルト着用街頭キャンペーン	21・廃棄物減量推進審議	
8月	22・土岐川改修整備促進協議会総会 23・自治連協市内施設見学及び理事會	25・第四回連合区長会	6・土岐可児線整備促進期成同盟総会 12・連合区三役会 15・第五回連合区長会 30・土岐市総合防災訓練		

編集後記

あの暑かった夏も、ようやく終わりました。皆様方には、如何お過ごしでしたでしょうか？

豊かな住まいづくりと暮らしをご提案!



カネヤマハウジング
〒509-51 土岐市泉森下町2
TEL (0572)54-3195(代) FAX (0572)54-8451

バッグ 化粧品の店

マルヤス
TEL 55-2187